

## 文書質問

上記の件について、嬉野市議会基本条例第7条第1項第3号の規定により提出する。

令和5年6月22日 提出

嬉野市議会議長 辻 浩一 様

提出者 嬉野市議会議員（議席番号第13番） 芦塚 典子

（質問事項）

国道等の整備について

（質問の要旨）

1. 国道498号線の整備について、出水期には嬉野市役所塩田庁舎前の交差点付近や塩田中学校北側交差点付近、また町分区田中町（コンビニ前）付近が冠水するが、どのような対策を講じられているか伺う。
2. 国道498号線の浸水地区の道路整備について、出水期に冠水がみられるのは、二つの排水機場の問題によるところが大きいと思われる。
  - ① 浦田川からの水流を排水する八幡川合流地点の排水機場のポンプの稼働時間を早めにと排水能力をあげて排水することができたら、塩田中学校北側の道路並びに嬉野市役所塩田庁舎前の道路の冠水も防ぐことができるが、どのように対策を計画されているのか、伺う。
  - ② 馬場下排水機場に水の流入を防ぐ止水版を設置されているが、ポンプの稼働を考えれば、止水壁を整備することが望ましい。または耐水排水機場としての整備も考える時期ではないかと思えるが、今後の治水対策を伺う。
3. 高規格道路整備について
  - ① 以前計画されていた、鹿島市から武雄市に至る高規格道路について、通学の安全性の確保と朝夕の交通渋滞の解消並びに災害時における交通路線の確保を鑑みると、災害時に対応できる路線整備を国、県に要望すべき時期ではないか、伺う。
  - ② 鹿島市から武雄市までの高規格道路は、以前は国道498号線整備促進期成会の会議が開催されるたびに、議題に上っていたが、最近は見えない。しかし朝夕の通勤や通学時間には渋滞がみられ、塩田中学（裏面あり）

校、嬉野高校塩田校舎、武雄高校等に通学する生徒にとって、歩道も整備されず危険な個所が多くあり交通事故の心配がある。特に6月～8月の期間は、雨の多い日が続き、田んぼの中を迂回する通学道路（コンビニセブン～下久間停留所まで）は冠水しやすく道幅も狭いので危険が伴う。

③ 通学時の危険個所と朝夕の渋滞箇所の解消にも、また災害時の物流運搬の困難を解消するためにも、以前計画されていた、鹿島・武雄間の高規格道路整備を本格的に要望する必要があるのではないかと考えるが、所感を伺う。

(質問事項)

河川整備と治水対策について

(質問の要旨)

- ① 今年度整備される予定の塩田川水系の河川における治水対策を伺う。
- ② 当初予算に挙げられている河川総務費18,500千円の流域治水推進事業はどのような整備をするのか伺う。また雨水貯留浸透施設整備事業はどのような事業なのか伺う。
- ③ 今月7日に開催された「内水対策プロジェクト拡大会議」では、次のような治水対策が提案され取り組み状況が説明されたと聞くが、塩田川水系では、どのような事業が行われるのか伺う。  
道路、河川、ため池に108か所設置する監視カメラ、「たんぼダム」を1200ha～2200haへ増す、今年度121か所で実施する浚渫工事等が挙げられている。
- ④ 今月13日に「六角川流域水害対策協議会」が発足し、武雄市北方町から杵島郡大町町と白石町にかけて約13キロの河川敷に、国が70個の湛水池を造ったという記事が出ていたが、塩田川水系でも、河口までの数キロには、渦が堆積しヨシが繁殖している。湛水池整備は、浚渫・河道掘削と同様効果があると思える。国に要望はできないか伺う。